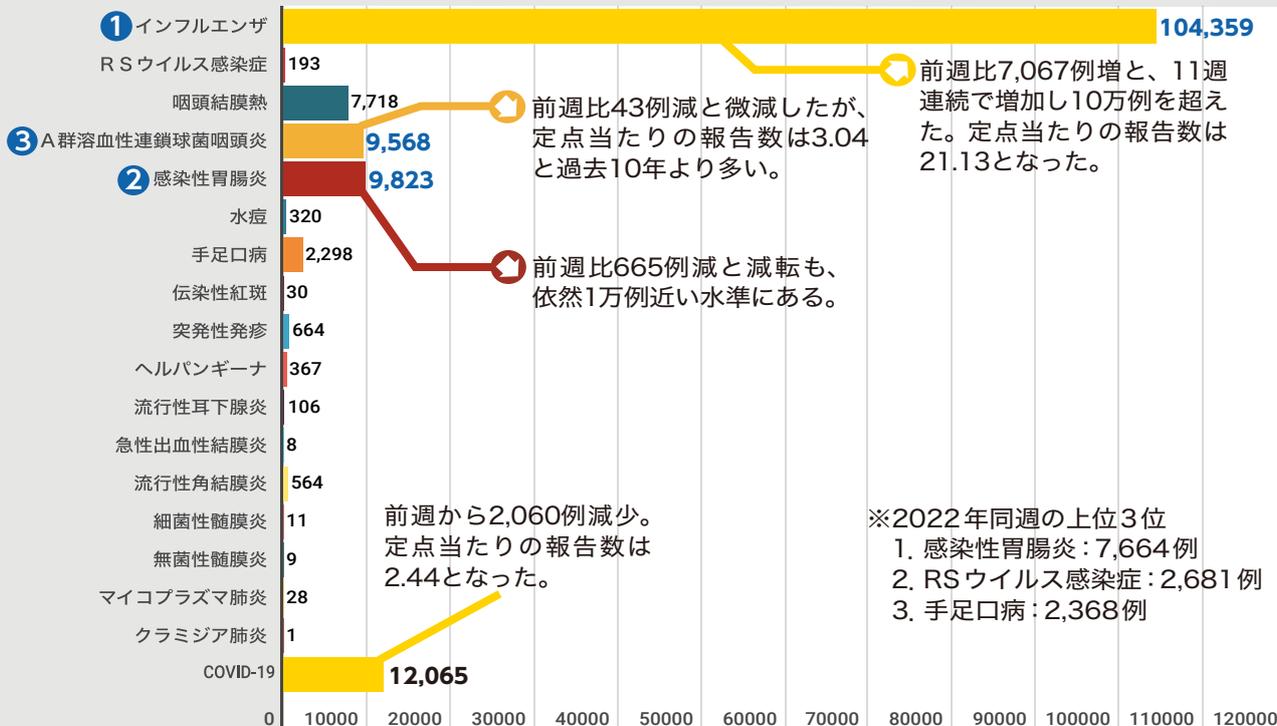


国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

勢い止まらぬインフル、10万例超える

丸数字は上位3位



(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

① インフルエンザ

報告数

1. 埼玉県：9,094例
2. 東京都：7,086例
3. 愛知県：6,750例

定点当たりの報告数(21.13)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 山梨県：39.63 | 4. 長野県：32.89 | 7. 千葉県：28.78 | 10. 高知県：27.80 |
| 2. 埼玉県：34.84 | 5. 福島県：32.66 | 8. 佐賀県：28.59 | 11. 大分県：25.74 |
| 3. 愛知県：34.62 | 6. 愛媛県：30.62 | 9. 鳥取県：28.38 | 12. 北海道：24.68 |

② 感染性胃腸炎

報告数

1. 東京都：967例
2. 神奈川県：693例
3. 大阪府：672例

定点当たりの報告数(3.12)

- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|---------------|
| 1. 大分県：7.61 | 4. 石川県：5.10 | 7. 島根県：4.57 | 10. 埼玉県：3.96 |
| 2. 香川県：6.36 | 5. 宮崎県：5.08 | 8. 山梨県：4.50 | 11. 鹿児島県：3.92 |
| 3. 福井県：5.64 | 6. 熊本県：4.78 | 9. 福岡県：4.44 | 12. 広島県：3.87 |

③ A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

1. 東京都：1,094例
2. 埼玉県：801例
3. 神奈川県：724例

定点当たりの報告数(3.04)

- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 1. 宮崎県：6.25 | 4. 埼玉県：4.88 | 7. 東京都：4.18 | 10. 富山県：3.79 |
| 2. 鳥取県：5.63 | 5. 山口県：4.58 | 8. 広島県：4.06 | 11. 愛媛県：3.59 |
| 3. 福岡県：5.22 | 6. 千葉県：4.50 | 9. 佐賀県：3.83 | 12. 大阪府：3.37 |
| | | | 12. 茨城県：3.37 |

今週の感染症動向

インフルエンザの報告数が10万例を超えた。定点当たり報告数は21.13と、前週に引き続き注意報レベルだ。都道府県別に見ると、山梨県が39.63、埼玉県が34.84、愛知県が34.62、長野県が32.89、福島県が32.66、愛媛県が30.62と警報基準値(30.0)超えは6県となった。岩手県、富山県、青森県、福井県を除く37都道府県が注意報レベルにあり全国的な流行が続いている。感染性胃腸炎は減少したが、昨年同週(7,664例)に比べると多い。A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は微減したものの、過去10年の当該週の定点当たりの報告数より多い状態が続いている。咽頭結膜熱は警報レベルの地域が前週の10道府県から11道府県へと拡大した。

COVID-19は2,060例減と大幅に減少。定点当たり報告数は2.44と減少傾向が続くが、過去は冬季に流行が再燃していることから慎重に注視したい。